

上田仮説サークルニュース		3月例会	2018.03号
編集責任 遠藤 裕		発行2018.4.28	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サングァーデン中野 B-G TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555			

3月17日(土) 上田市中央公民館 2F第3会議室
午後3:00～8:30



参加者数6名 資料総ページ113ページ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 北村秀夫さん, 北村知子さん,
池田みち子さん, 遠藤裕

はじめに 3月例会の参加者は6名。

今月は、ご都合で参加者がふだんより少なかったようです。

レポートは合計で6本、総ページは113ページでした。柳沢さんから5本(新聞記事の紹介は1本にまとめました)、増田さんから1本です。

柳沢さんは、読書メモ、研究会ニュース用原稿案2本、講演会記録、新聞記事の紹介とたくさんの発表をしていただきました。

増田さんは、<今月の本の紹介26>で、今回は橋爪大三郎著『世界は宗教で動いている』で、宗教とその社会とのつながりを理解するのに最適な本です。

渡辺さんは、他の研究会へ参加され今月はお休みですが、報告を伺うのが楽しみです。終了後「大戸屋」で夕食会。

1. 発表資料

① サークルニュース 2月例会 遠藤 裕 (16ページ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 1月例会 遠藤 裕 (18ページ)
- ② 授業書粗案 チョコレートの謎 渡辺規夫さん (2ページ)
- ③ 特派員報告「転んでもシメタ学」月報 その② 2018年3月 柳沢克央さん (4ページ)
仮説実験授業を安心・安全に行うためには、どのような本を読んでおけばよいのか
- ④ 読書メモ2018年2月号 柳沢克央さん (12ページ)
水野敬也+長沼直樹『人生はワンチャンス!』(文響社・2002年)
- ⑤ 講演記録メモ 「縮む社会を幸せにする事業」 柳沢克央さん (4ページ)
- ⑥ 舞の海秀平氏講演会 「小さく大を制す」 柳沢克央さん (8ページ)

- ⑦ 進路を考えるためのチェックシート 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑧ ブログ紹介 駅伝と商談会の関係 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑨ ブログ紹介 「日本はナショナリズムから卒業した」 柳沢克央さん (4ペ)
思想家が語る明治150年
- ⑩ 紹介 授業「君たちはどう大学受験に立ち向かうか」 柳沢克央さん (8+2ペ)
- ⑪ 紹介 朝日中高生新聞 柳沢克央さん (2ペ)
○エンスタナビ 文理の勉強法は逆転の発想で
○夢ナビ お仕事レポート 展開が予測できない映画のようなスリルを
- ⑫ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (5ペ)
- ⑬ <今月の本紹介25> 増田伸夫さん(32ペ)
[要約]: 神道は日本の歴史を写し出す鏡!
- ⑭ 紹介 「2/9豊橋の会」 大塚浩文さん (15ペ)
- ⑮ 紹介「生涯楽習 上田自由塾」のパンフレット 渡辺規夫さん
- ⑯ 紹介 「素人研究法入門」 渡辺規夫さん (1ペ)
板倉聖宣先生の手書きの資料。
- ⑰ 紹介 科学史学会年会・シンポジウムのご案内 渡辺規夫さん (2ペ)
- ⑱ 授業書《あかりと文明》の授業の感想文 渡辺規夫さん (4ペ)
- ⑲ 板倉さんの「物理学史研究」の研究 渡辺規夫さん (30ペ)

2. 体験講座 講師: 渡辺規夫さん

<チョコレートの謎> 渡辺規夫さん作

② 読書メモ2018年3月号

柳沢克央さん (32ペ)

—小林秀雄・岡潔対談録『人間の建設』(新潮文庫・2010年)ほか—

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

前回までの「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく(適当に)おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。(私物)と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

3月末に異動になりそうです。2月26日(月)現在、異動先は不明ですが、進学校になりそうだという話は聞いています。篠ノ井高校図書館の蔵書を返却して、新しい環境への移動へと準備を進めなければなりません。こうした機会に荷物を大胆に整理することは仕事を進める上でとても大切。きっかけとして上手に活用したいと思っています。

◇2月号で読んだ本

◎水野敬也＋長沼直樹『人生はワンチャンス!』（文響社・2012年）

◇3月の読書記録または読書メモ（順不同）

◎森重湧太著『一生使える見やすい資料のデザイン入門』（インプレス・2016年）

◎ちくま評伝シリーズ〈ポルトレ〉『武満徹（作曲家）』（筑摩書房・2016年）

◎山本義隆著『近代日本百五十年』（岩波新書・2018年）

◎ハリー・ウォン／ローズマリー・ウォン共著『世界最高の学級経営』（東洋館出版社・2017年）

◎佐々木基編著『高校教師これだけはやっておきたい黄金の三日間』（明治図書・2010年）（私物）

◎赤坂真二編著・片桐史裕著『学級を最高のチームにする!365日の集団づくり』（明治図書・2017年）（私物）

◎『世界の大思想6・ベーコン（ノヴム・オルガヌム他）』（河出書房・1966年）

◎『世界の名著22・デカルト（方法序説他）』（中央公論社・1967年）

◎『世界の大思想7・デカルト（方法序説他）』（河出書房・1965年）

◇特別企画…「廃棄本」からひとつかみ

◎◇加藤八千代著『朝永振一郎博士・人とことば』（共立出版・1984年）

◎◇大矢行著『アニメ＆コミックのための絵コンテ作法』（代々木アニメーション学院・出版局 1994年・この本だけはラベルがないので進路指導室の放出品と思われる）

◎◇立花隆著『宇宙からの帰還』（中央公論社・1983年）

◎◇保阪正康著『自伝の書き方』（新潮選書・1988年）

◎◇佐川芳枝著『寿司屋のかみさんおいしい話』（講談社・1996年）

◎◇植田康夫著『編集者になることば』（ペリかん社・1994年）（進路指導室放出品）

◎◇ロード・モーラン著『チャーチル―生存の戦い―』（河出ワールドブック・1967年）

◎◇小島輝正編『年表 世界の文学』（創元社・1972年）

◎◇加藤尚武著『ジョーク哲学史』（河出書房新社・1983年）

◎◇吉田秀和著『レコードのモーツァルト』（中央公論社・1975年）

◎◇岩城宏之著『棒ふりの休日』（文藝春秋・1979年）

◎◇宇野功芳著『僕の選んだベートーヴェンの名盤』（音楽之友社・1982年）

◎◇西岡まさ子著『緒方洪庵の息子たち』（河出書房新社・1992年）

以上特別企画

◎三木雄信（たけのぶ）著『A4一枚勉強法』（PHPビジネス新書・2018年）（私物）

◎矢部宏治著『知ってはいけない』（講談社現代新書・2017年）

◎藤原和博著『10年後 君に仕事はあるのか?』（ダイヤモンド社・2017年）

◎加藤一二三著『挑みつづける人生』（日本実業出版社・2017年）

◇次回以降の予告 15冊

◆まとめ・つづきなど ほんの一部掲載

○夜、誰もいない家に帰って電灯のスイッチを入れると、部屋が明るくなる。勉強もこれと同じだ。授業というのはスイッチをオンにする作業だ。スイッチを入れればその分野について「明るくなる」のだ。わからないのは、スイッチが入っていないから。正しくスイッチを入れればよい。授業というのは何もないところに電灯をセットする作業ではなく、生徒の中に元からあったものを使えるようにする作業なのだ。「苦しくとも歯を食いしばって頭に詰め込めば、勉強ができるようになる」というイメージは大いなる誤りだと思う。今の私が正しいと思っているイメージはむしろその逆で、ストッパーを外せば動くようになる。リミッターを外せばできるようになる。スイッチを入れれば明るくなる。こういうイメージが大事だと思い、先日の理科の送別会で話したら、同意が得られて心強く思った。〔以上、3月15日(木)11:20〕

◆「予定時刻となったので」「本稿はこれで打ち留め印刷へ」。「最後までお読み下さりありがとうございます」。「異動して新たなことができる春」。〔3月16日(金)16:00脱稿〕

(今回も26冊もの本を紹介していただきました。◇のついた本は図書館の廃棄本ということです。)

1967年から1996年の出版。本も20年以上古くなると廃棄の対象になるようです。どこかで処分する勇気も必要ですが…。 エトナリ)

③ 「転んでもシメタ学」月報 その② 2018年3月 柳沢克央さん (4ペ)

羽生善治永世七冠(将棋)講演に学ぶ《七転び八起き学》＝《転んでもシメタ学》

「レポートの新しい形式を探る試み」としての紹介。

増田さんが「羽生善治講演会」の要点をまとめたものに、柳沢さんがコメントを付け加えた形式です。また、ウェブ上でのやり取りも掲載されています。

信州・上田仮説サークルウェブ・サイト上「掲示板」(<http://nwkase.bbs.fc2.com/>)の情報加工し、「転んでもシメタ学」を根源的に考えるためのケース・スタディ(事例)として4ページにまとめてみました。羽生永世七冠に心から敬意を表します。また、この講演を記録し、研究に協力してくれた増田伸夫さん、ネット環境のベースを提供してくれている渡辺規夫さんに感謝します。編集・文責 柳沢克央(信州・上田仮説サークル)

◆はじめに…標記サイトにあった、もとの文章は明朝体で、後から柳沢が付加した部分はぎやーてーるみねっせんすで、強調部分はMSPゴチックで標記します。下線は柳沢。これは、レポートの新しい一つの形式を探る試みでもある、とお考えいただければ幸いです。

◆まとめ…あくまで「中間報告」…としてヒトコト…増田伸夫さんと恵まれた情報環境のおかげで、サークルで話をするのとはまた違った形で研究(と自分では思っていますが…)が展開できたように思っています。どちらが良いとか悪いとかではなく、失敗で

も IT というチャンスでも、積極的に上手く利用する（流れに乗る）ことが大切だと思います。〔2018年2月20日（火）18：00 編集了〕〔次回予告〕牧表さんが敢えてくれた「失敗と成功の哲学」

（追記に、今回使用したフォントは「Meiryo UI」とあります。その名の通り「明瞭」なのでオススメです、明瞭なことはトラブルを防ぐための手だてとしても有効とのこと。 エンドウ）

④ 「転んでもシメタ学」月報 その③ 2018年4・5月 柳沢克央さん（3ペ）
「いつも笑顔で元気です」☺を実現するための「チェックリスト」

「仮説実験授業を始める前のチェックリスト」試案。

大戦略（＝目標）
「いつも笑顔で元気です」
（犬塚清和さん）

ポイント1☺ たとえ最悪の事態に陥っても、すぐ脱出する構えを確立する

ポイント2☺ 授業と実験演示を成功するために周到な準備をする

ポイント3☺ のびのびと、かつ注意深く、余裕のある授業をする

☺ ステップ（「チェックリスト形式」にしてみました。授業などを始める前にレをつけてみてください）

- 1 あなたの体調は良いか（判断力・行動力）。
- 2 緊急時の連絡方法等がすぐわかる状態になっているか。
- 3 子どもたちとの信頼関係ができているか（年度当初の場合は「その準備ができているか」）。
- 4 保護者との信頼関係ができているか（同上）。
- 5 同僚・管理職との良好な関係ができているか（同上）。
- 6 授業時間・場所が確保できているか。整理整頓・環境整備はできているか。
- 7 モノは十分に準備できているか。授業後の保管・廃棄方法は決めてあるか。
- 8 授業書の「読み込み」(失敗事例や予防法リサーチ含む)や「予備実験」等の準備ができているか。
- 9 実験操作の手順について十分に意味がわかった上で確実に操作できるか。
- 10 次の機会やあとに続く人たちのために必要な記録は取れているか。

<柳沢さん> …いつもいつも、このリストのことばかり考えていると、いかにも堅苦しくてタイヘンになることは認めます。ただ、これは「始動する時に、たとえばこういうことをチェックしてみたらどうかな？」ということを考えるための一つのたたき台として考えていただければいいと思います。

(毎回チェックというのは大変な気もしますが、時々このチェックリストを見て確認する習慣をつける
とよいと思います。何か突発的な事故が起きたとき余裕が持てるのではないのでしょうか。 エドワ)

⑤ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (6ペ)

新聞の記事の紹介。

- 信毎 2018.2.19 小平 500 金 スピード女子日本初
2018.2.20 スピード 500 女子金メダル会見 小平「次は世界記録を」
2018.2.23 「金」の隊列 4人の結晶 追い抜き日本女子
／高地で世界新へ 小平 練習再開
2018.2.23 ノルディックスキー複合団体の日本
日本人の平均身長 縮む傾向に
斜面
2018.2.26 日本勢 メダルラッシュ 笑顔と涙 17日間
時の顔 東京マラソンで日本記録を更新した設楽悠太さん
科学 千葉大が「多様性の効果」実証研究 豊かな個性で集団繁栄
- (今回紹介の記事は、オリンピック関連の記事が多いですが、選手へのインタビューから多くのこ
とが学べそうです。柳沢さんは、生徒さんへのメッセージを書いて授業で紹介しているようです。
2.23の斜面「メタ認知」の記事はとても参考になりました。 エドワ)

⑥ 舞の海秀平氏講演会 「小よく大を制す」 柳沢克央さん (8ペ)

舞の海秀平氏の講演会のメモの紹介。

舞の海秀平氏 講演会「小よく大を制す」

(1968年2月17日生まれ)

2018年2月10日(土) 13:30～15:00

上田市サントミュージゼ大ホール(満員)

メモ起こし・文責：柳沢克央(信州・上田仮説サークル)

- ◆テレビで本音は話せない
- ◆土俵下にごめくさまざまな思惑
- ◆大相撲はスポーツではなく伝統芸能
- ◆人情相撲、小錦との不思議な一番
- ◆大相撲への道の始まり
- ◆新弟子検査日のこと
- ◆「今日も遅刻してみろ」

- ◆ 「人として大切なことを忘れるな」
- ◆ 「小よく大を制す」
- ◆ 質疑応答
- ◆ 編集を終えて（柳沢克央）

舞の海氏の話しぶりは相撲解説と同様、極めて明快だ。緩急や息抜きの取り方も絶妙。話芸の域に達している、とにかく話が上手い。メモ起こし、編集を通じて大変に多くのものが得られた。日本文化の特質とその伝統の奥深さの一端が理解できたと思う。編集終了までだいぶ時間がかかったが、とても良い勉強ができたのではないかと思っている。上田市の好企画に感謝。〔2018年3月9日（金）17:15 編集終了。これから篠高理科送別会〕

（山形県の高校教員に内定していた舞の海、相撲部の後輩の突然の死をきっかけに、「本当にやりたいことに挑戦したい」と大相撲の道へ。頭にシリコンの袋を入れ、生理食塩水を注入して足りない身長を克服。それでも本当は足りていなかった？話しも上手で、とても面白くためになった講演会だったようです。 エンドリ）

⑦ <今月の本紹介26>

増田伸夫さん(44歳)

〔要約〕：世界を読み解くための最大の補助線は宗教だ！

設問形式による本の紹介。

☆橋爪大三郎 『世界は宗教で動いている』

（光文社新書）定価：本体760円（税別）

（2013年6月20日 初版1刷発行 2013年8月5日 4刷発行）

著者の橋爪大三郎は1948年、神奈川県生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位修得退学。東京工業大学名誉教授／社会学者（ユニテリアン）。著書に『言語ゲームと社会理論』（勁草書房）、『はじめての構造主義』、『ふしぎなキリスト教』（共著）（以上講談社現代新書）、『世界がわかる宗教社会学入門』（ちくま文庫）など多数。

＊

橋爪大三郎×佐藤優『あぶない一神教』（小学館新書）を読んでから、日本社会の第一原理／right など説得力のある橋爪解説に魅力を感じ、いつか橋爪の本を読んでみたいと思っていた。そして手に取ったのがこの本である。

本書は、慶鷹丸の内シティキャンパスで行われた「宗教で読み解く世界」の講義（3時間×全6回：ビジネスマンを中心とする受講生と討議を交わしたやりとり）をもとにしているので大変に読みやすく、宗教と社会との関係を浮かび上がらせてくれる。今回も設問形式で本書の紹介を試みたい。しばらくおつきあいください。

◇一神教の神 (God) はなぜ絶対なのか
 ◇近代的「所有権」は一神教に由来する！
 ◇イエスによる「God のくばさ／厳しさ」の解釈
 ◇イエスの父は？
 ◇『マタイによる福音書』と『ヨハネによる福音書』
 ◇イエスは預言者／ニセ預言者か、はたまたメシアか
 ◇一線を越えたイエス
 ◇イエスはメシア (キリスト) か？
 ◇罪／原罪／「救われる」とは
 ◇ユダヤ教、キリスト教の苛烈さの原因
 ◇キリスト教と政治
 ◇ユダヤ教と政治 (宗教的自治権の獲得)
 ◇イスラム教と政治 (神聖政治と宗教的寛容)
 ◇人間が生まれるのも神の業？ (神の手はどこで働く？)
 ◇宗教改革はキリスト教の特徴か？
 ◇宗教改革はなぜ西方教会で起きたのか
 ◇ヨーロッパにはあまり本がなかった？
 ◇ラテン語訳聖書とドイツ語訳聖書
 ◇宗教改革がもたらしたもの
 ◇ピューリタンとアメリカ① (政教分離／信教の自由)
 ◇ピューリタンとアメリカ② (建国の正当性と聖書)
 ◇アメリカがイスラエルを支援する理由
 ◇弁護士だらけ／裁判だらけの国：アメリカ
 ◇アメリカ人と成功
 ◇宗教的寛容とキリスト教
 ◇キリスト教徒と政治
 ◇ジャーナリズムは預言者の役割
 ◇アメリカと政治家の任期

◇アメリカと選挙結果
 ◇奴隷制と南北戦争
 ◇キリスト教原理主義者 (≒聖書しか読んでいない人)
 ◇インドのカースト制は平等か？
 ◇輪廻／先祖崇拜と日本人
 ◇トラブル回避の論法 (インドの多神と化身)
 ◇中国：ワンランク上の人造国家 = CU ≒ EU
 ◇漢字の秘密 (ヨーロッパの文字と漢字の違い)
 ◇中国と政治
 ◇万里の長城
 ◇孔子と儒学
 ◇「聖人」と「君子」
 ◇世界最初の学校と儒教テキスト (経と論)
 ◇中国の官僚機構の起源
 ◇儒教は宗教か？
 ◇徳 (仁) と忠と孝 (儒家が勝ち残ったワケ)
 ◇孟子と双務契約 (国家社会主義的提案)
 ◇孟子の革命思想
 ◇朱子学と科挙
 ◇江戸幕府と朱子学
 ◇江戸幕府と科挙
 ◇仏教の中国的展開 (輪廻, 祖先崇拜, 出家)
 ◇国営仏教の全滅と禪宗
 ◇労働と戒律 (日本人はルールを自分で決めたがる？)
 ◇仏教・ヒンドゥー教と神道
 ◇明治維新以後の日本人の急速な近代化 (勤勉) の原因
 ◇平田篤胤の「英霊」

＊

＜一言で言えば＞：宗教は世界を読み解く最大の補助線！

さて、本書の内容を一言で言えば、「世界の人々は、無意識のうちにそれぞれの宗教の発想や行動様式に支配されて生きている！だから…」ということになるだろうか。

- 【第1講義：ヨーロッパ文明とキリスト教】
- 【第2講義：宗教改革とアメリカの行動原理】
- 【第3講義：イスラム文明の世界】
- 【第4講義：ヒンドゥー教とインド文明】
- 【第5講義：中国文明と儒教・仏教】
- 【第6講義：日本人と宗教】

＊

＜宗教が分かれば世界がわかる！＞

＜宗教が分かれば世界がわかる＞は、池上彰も同じことを言っていて、同じような題名の本を出している。池上彰の本もいいですが、橋爪大三郎の本もとてもよい。池上とは切り口が違うが、切れ味は鋭い。特に、「近代的＜所有権＞は一神教に由来する！（近

代的所有権は、God と被造物の関係を、人間とモノの関係にあてはめたもので、だから所有権は神聖（にして不可侵）」などは大変に説得力がある。本書はさまざまな宗教とその社会とのつながりを理解するには最適な1冊である。ぜひご一読を！（増田）

（「宗教から世界を読み解く」というのはとても面白い視点だと思います。これをヒントに世界史の新しい学習の方法が開発されるといいですね。サークルのみなさんも増田さんの今後の研究に大いに期待していることと思います。 エンドウ）

あとがき 新学期が始まりあっという間に一カ月。私は長野工業から中野西に異動ということで、環境がだいぶ変わりましたが、授業についてはだいぶ出遅れている気がします。通勤時間が短くなったぶん（車で5分）時間を有効に使いたいと思っていますが…。



みなさんの4月はどうだったでしょうか。 （エンドウ）

★ 今後の予定 ★
5月19日(土)
6月23日(土)
7月28日(土)